



▲2つのグループの発表後、参加者（前列）らで記念撮影

## 2040年の加西をデザイン 学生ワークショップ

2月28日、市内外の高校生が集まるワークショップ「KASAI Future Builders」を、アステアかさいで実施しました。「ワクワクする未来の加西」をテーマに、参加者は今の加西の課題を考え、未来の技術でどう解決するかを議論し、2040年の加西市の暮らしをデザインして紙にまとめました。最後には、まちの姿やサービスについて、熱意あふれる発表を行いました。

## 宇宙飛行士の毛利衛さん 講演会

2月7日、加西市民会館で日本初の宇宙飛行士毛利衛<sup>もうりまもる</sup>さんの講演会「宇宙の地球人としての私たち」が開催され、約600人が参加しました。参加者は、宇宙実験や地球観測ミッションの貴重な映像と、実体験に基づく話に熱心に耳を傾けました。講演では、地球の現状を宇宙からの視点で捉え、持続可能な社会を実現するための「未来智」として、「情報ネットワーク」と「生きる喜び」の大切さを語られました。



▲毛利さんの話に聞き入る参加者



▲会場を埋め尽くすほど多くの人々が訪れ、お気に入りのカレンダーを選んでいる様子

## お気に入りの一冊で新年彩る カレンダー市

2月4日、アステアかさいで「第8回カレンダー市」が開かれました。会場には善意で寄せられた風景や動物、実用的なものといった多種多様なカレンダーが並んでいました。1人5点まで持ち帰ることができ、訪れた人々は「どれにしようか」と楽しみながら選んでいました。お気に入りの一冊を手にした来場者の笑顔で、会場は終始活気に包まれていました。

## 戦前、戦中の音楽と社会をたどる sora かさい

1月31日から2月23日まで、地域活性化拠点施設「sora かさい」(鶏野町)で「令和7年度冬季企画展」が開催され、約3,000人が来場しました。企画展では、戦前、戦中の楽譜や音楽機器など約30点が展示されました。海外進出を背景に広がった大衆文化も紹介され、当時の音楽や歌が社会情勢と深く関わっていたことを学ぶ、貴重な機会となりました。



▲リードオルガンなど展示物に見入る来場者

## 旧正月を祝う 「テト&春節」

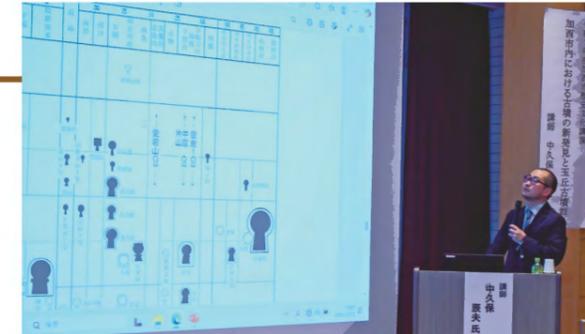
ベトナム、中国、韓国、台湾の旧正月を祝う「テト&春節祝い」が2月15日、アステアかさいで盛大に開催されました。会場には約170人が集まり、華やかな獅子舞やベトナムの伝統衣装アオザイのファッションショー、北条高校の生徒によるカホン演奏などが披露されました。ベトナムの伝統料理も振る舞われるなど、国籍を超えて新年の喜びを分かち合いました。



▲参加者全員で記念撮影を行いました

## 新たな前方後円墳を発見！ 歴史文化講演

加西市歴史文化講演「加西市内における古墳の新発見と玉丘古墳群」を2月23日、アステアかさいで開催しました。市内で新たに発見された前方後円墳の測量調査を担当した中久保辰夫准教授(大阪大学大学院)が、最新の調査成果と新たな歴史像について解説されました。参加者からは「なぜ前方後円墳が加西に築かれたのか」といった質問があり、関心の高さがうかがえました。



▲古墳新発見の意義について解説する中久保准教授



▲雪が降りしきる中、最後まで全力プレーを見せる選手たち(富合野球スポーツ少年団と泉少年野球クラブの決勝戦)

## 一球に込める6年生の集大成 伊東電機杯

2月7日、8日、市内の軟式野球スポーツ少年団に所属する小学6年生の引退試合となる「第37回伊東電機杯親善少年野球大会」が、伊東電機グラウンドで開催されました。選手たちは保護者らの温かい声援を背に、これまでの練習の成果を存分に発揮しました。主催の伊東電機担当者は、「野球の楽しさを実感してもらいたい。今後もこの大会を続けていきたい」と思いを語りました。

## 実際に塩分を測って数値で確認 血圧ライフ

「測って知ろう！ 健やか血圧ライフ」を2月16日、アステアかさいで行い、約60人が参加しました。会場では血圧測定やイス体操のほか、持参した味噌汁の塩分測定が行われました。具体的な数値で自分の食生活を確認した参加者は、適切な塩分量を知ること、血圧に気を付けるなど日々の健康管理の大切さを学ぶ機会となりました。



▲持参した味噌汁の塩分量を確認している参加者

## 北条conneで発表 北条小5年

2月28日、北条旧市街地の「北条conne」(北条町北条)に北条小学校5年生40人が参加しました。地域や市役所から節句祭りやまちづくりを学んだ児童たちは、伝統を繋ごうと自作の紙芝居やクイズ、紹介ビデオを披露しました。地元のフォークデュオ「くまごろう」と共作した歌『つながり』も合唱し、大好きなまちを盛り上げたいという精一杯の表現が、地域の絆を深めました。



▲北条節句祭りの紙芝居を披露している北条小5年の児童たち

## 自分だけのマシンで激走！ ミニ四駆イベント

2月14日、アステアかさいで「ミニ四駆組み立て体験と夢のサーキット走行会」(ねひめホール運営会議主催)が開催されました。参加した約30人の子どもたちは、細かなパーツを組み合わせて自分だけのマシンを完成させ、特設コースでの走行に挑戦しました。自慢のマシンが猛スピードで駆け抜ける様子に、会場は大きな歓声に包まれました。



▲自作のマシンがコースを激走する様子を見守る参加者